

# 昌子の広場 第227報 小林昌子議会報告

## 和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘 2-13-10

自宅 Tel 0725-54-2626

Fax 020-4669-6920

事務所 Tel(Fax)0725-53-4451

Email masakokob@yahoo.co.jp

http://masako-hiroba.info/

ホームページもご覧下さい

再生紙を使用しています



目次	
・ご挨拶	P1
・大阪府内自治体なんでもランキング	P2-3
・令和3年度予算案が提示	P4

### ご挨拶 大阪府内自治体なんでもランキング 令和3年度予算案が提示

新型コロナの影響で世の中が大きく変化しました。緊急事態の宣言による国民への自粛要請で町中の人一人残らずマスクをつけており、今まで考えられない風景が展開され、不要不急の外出は厳に控えるように通達されています。

このような中で毎月休まず発行していましたが昌子の広場の会報も一時休刊していました。2回目の非常事態宣言の効果か、新規感染者が劇的に減少し、宣言も解除された中で、再び会報を発行させていただくこととなりました。

トリヴェール和泉の開発が一段落し、人口増加、税収増の流れが明らかに変化しています。懸案であった新病院は病床利用率も高く、経営も安定してきました。又新庁舎もまもなく誕生します。これ以外にも槇尾中学校区や富秋中学校区での小中一貫校の建設や北信太駅前整備、市営住宅再編の町づくりなど巨額の投資が必要な案件が目白押しで、更に今回のコロナ対策が加わり厳しい財政運営が続きます。行政への期待がますます高まる中で、限られた財源では市民の皆様の要求に全て答えることはもはや不可能となっています。全てを行政に期待するのではなく市民自ら何が出来るかを考えなければならない時代ともいえます。一方行政にあっては不要不急な施策に貴重な税金を使うことは絶対にあってはなりません。議員として市政を監視し、オンブズ活動も合わせて子どもたちにつけを回すことの無いようチェックして参ります。

さて、コロナ関連の支出が大きく増えています。財政的には国の支援等があるため、市にとっての大きな負担には今の所なっていないませんが、この状況がいつまで続くのか、また景気の悪化による税収減がどの程度で収まるのか予断を許さないと私は感じています。4ページに令和3年の予算の概要を紹介していますが、税収については予断を許しません。

議会もこの状況に少しでも協力しようと10%の報酬カットを決めました。また昨年秋からタブレットの導入が行われました。タブレットと格闘する日々ですが、これをいい機会と捉え、自分を叱咤激励して取り組みたいと思います。これからの4年間皆様にこの会報をお届けできるよう、頭と体を鍛え市民の視点と市民の声を議会に届け、市民主役の町「和泉市」になるよう頑張る所存です。



# 令和3年度予算案が提示されました 一般会計は729億円新型コロナの影響で厳しい予算！

単位百万円

	令和3年度	令和2年度	増減	増減率(%)
一般会計	72,900	72,700	200	0.3
特別会計	38,736	38,533	203	0.5
①国民健康保険事業	20,717	20,626	91	0.4
②用地地先行取得事業	526	1,412	▲ 886	▲ 62.7
③介護保険特別会計	15,023	14,093	930	6.6
④後期高齢者医療事業	2,424	2,359	65	2.8
⑤浄化槽事業	46	43	3	7.0
企業会計	13,762	16,872	▲ 3,110	▲ 18.4
①水道事業	4,493	4,566	▲ 73	▲ 1.6
②公共下水道	6,649	7,127	▲ 478	▲ 6.7
③病院事業	2,619	5,178	▲ 2,559	▲ 49.4
総合計	125,398	128,105	▲ 2,707	▲ 2.1

市の歳入(単位百万円)		家計の収入(単位千円)		
市税	21,966	給与収入	23,843	98.1
使用料・手数料・分担金 負担金・諸収入	1,877			
寄付金・財産収入	1,120	その他の臨時収入	1,120	4.6
繰入金	4,683	貯金の取り崩し	4,683	19.3
地方交付税	7,800	親からの仕送り	34,813	143.3
地方贈与税・各種 交付金・ 国府支出金	27,013			
地方債	8,441			
歳入計	72,900	収入計	72,900	300.0

市の歳出(単位百万円)		家計の支出(単位千円)		
人件費	10,964	食費		45.1
扶助費	24,147	医療費や子供の学費		99.4
公債費	8,395	借金の返済		29.4
物件費	9,846	光熱水費		40.5
維持補修費	350	車の修理費		1.4
補助費等	4,305	親戚への援助など		17.7
積立金	1,347	貯金		5.5
投資・出資・貸付金	35	生命保険など		0.1
繰り出し金	6,537	子供への仕送り		26.9
普通建設事業費	6,874	自宅の増改築や修理		28.3
予備費	100	予備		0.4
歳出計	72,900	支出計		300.0

基金残高の状況

(単位百万円)

	H29年度末	H30年度末	R1年度末	R2年度末 (予算額)	R3年度末 (予算額)
基金額	6,642	6,412	6,805	5,628	2,894
創発プラン(案)での設定額	6,642	6,412	6,300	7,279	7,032
新型コロナを考慮した基金残高	6,642	6,412	6,805	6,438	5,708

令和3年度予算(案)が提示されました。総額で1254億円、一般会計は729億円で骨格予算とは言え前年度比微増です。財源対策として基金からの繰入47億円、市債の発行84億円等で貯金の取り崩し、借入金で賄う厳しい予算です。(予算の詳細は次号で紹介)市の貯金にあたる基金残高は創発プランの70億円から30億円に減少しています。決算での不用額により減少幅は小さくなると思われますが、いずれも財政規律が悪化しています。

市の財政を月30万円の家計に例えますと、一ヶ月の収入30万円のうち、自分で稼いだ給与は10万円弱(総収入の32.7%)しかなく、残りの20万円(約65%)は、親からの仕送りや借入金に頼っています。一方支出については食費や光熱水費、子供の学費、借金の返済など普段の生活費として20万円強かかっていることとなります。つまり自分で稼いだお金10万円よりも普段の生活費が10万円多いということになり、足りない分は親からの仕送りや借入金で賄っており、とても厳しい状況にあります。

## 昌子の日記&予定

- 2/8 予算内覧会
- 2/9 泉北水道議会傍聴
- 2/12 議会運営委員会傍聴
- 2/19 本会議
- 2/25 厚生文教委員会傍聴
- 2/26 都市環境委員会、適正就学対策審議会傍聴

《事務所行事》いずれも小林昌子事務所で

連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626  
事務所 TEL 0725-53-4451  
(事務所 緑ヶ丘1-3-15)

## パソコン講座

- ・第2、第4週の火曜 10時～12時、  
同じく 木曜 14時～16時
- 市政相談会(事前にご連絡下さい)
- ・第2、4水曜日 20:00～21:30

大阪府内自治体なんでもランキング（令和元年度決算 標準財政規模に対する割合）

地方債残高

順位	団体名	地方債残高 ÷ 標準財政規模	30年度順位
1	泉佐野市	271.1%	1
2	高石市	268.0%	2
3	泉南市	217.5%	3
4	守口市	198.0%	4
5	交野市	194.5%	5
6	門真市	188.9%	6
7	能勢町	187.6%	14
8	岬町	186.0%	7
9	千早赤阪村	184.2%	9
10	箕面市	182.0%	13
11	忠岡町	175.4%	8
12	東大阪市	174.8%	10
13	八尾市	170.4%	12
14	島本町	170.1%	16
15	松原市	169.2%	17
16	泉大津市	167.4%	11
17	池田市	166.9%	19
18	河南町	165.4%	21
19	羽曳野市	160.7%	18
20	岸和田市	155.2%	15
21	阪南市	152.8%	20
22	貝塚市	151.2%	23
23	河内長野市	147.5%	22
24	大阪狭山市	146.3%	25
25	大東市	141.9%	24
26	藤井寺市	141.1%	30
27	富田林市	139.1%	32
28	枚方市	135.6%	31
29	四條畷市	132.2%	26
30	太子町	132.0%	29
31	柏原市	131.7%	34
32	寝屋川市	131.6%	28
33	和泉市	130.1%	27
34	豊能町	129.6%	32
35	熊取町	104.2%	36
36	豊中市	103.3%	35
37	茨木市	95.4%	38
38	摂津市	94.8%	37
39	高槻市	73.3%	39
40	吹田市	72.1%	40
41	田尻町	7.6%	41

債務負担行為

順位	団体名	債務負担 ÷ 標準財政規模	30年度順位
1	箕面市	127.7%	1
2	泉佐野市	115.2%	2
3	貝塚市	69.6%	13
4	交野市	69.3%	3
5	大東市	64.3%	5
6	枚方市	52.5%	5
7	島本町	51.0%	30
8	吹田市	48.7%	4
9	門真市	46.7%	11
10	守口市	43.1%	10
11	忠岡町	42.5%	35
12	千早赤阪村	40.4%	8
13	富田林市	38.8%	7
14	豊能町	35.1%	18
15	河南町	32.8%	9
16	阪南市	28.9%	21
17	熊取町	26.6%	19
18	摂津市	25.4%	14
19	藤井寺市	25.3%	16
20	太子町	23.3%	24
21	岬町	23.0%	41
22	大阪狭山市	22.1%	25
23	泉大津市	21.6%	16
24	豊中市	20.5%	14
25	寝屋川市	20.0%	31
25	能勢町	20.0%	27
27	東大阪市	19.2%	12
28	八尾市	17.8%	22
29	松原市	17.4%	23
30	和泉市	15.9%	20
31	茨木市	15.3%	28
32	柏原市	14.1%	26
33	四條畷市	11.8%	33
34	高石市	10.4%	40
35	泉南市	9.9%	29
36	田尻町	9.8%	37
37	岸和田市	9.6%	32
38	高槻市	9.1%	36
39	羽曳野市	8.7%	39
40	河内長野市	8.6%	34
41	池田市	2.8%	38

積立金残高

順位	団体名	積立金 ÷ 標準財政規模	30年度順位
1	田尻町	200.0%	1
2	千早赤阪村	106.1%	3
3	箕面市	91.5%	5
4	太子町	90.6%	4
5	熊取町	86.3%	6
6	泉佐野市	77.3%	2
7	摂津市	70.4%	8
8	大東市	67.6%	7
9	河南町	62.3%	9
10	島本町	56.9%	11
11	豊能町	54.0%	12
12	能勢町	51.3%	10
13	高槻市	47.4%	13
14	四條畷市	45.8%	16
15	吹田市	45.3%	26
16	富田林市	45.2%	14
17	交野市	45.0%	15
18	茨木市	43.7%	17
19	河内長野市	40.6%	19
20	泉大津市	39.2%	27
21	寝屋川市	38.9%	24
22	枚方市	37.7%	20
23	和泉市	35.1%	23
24	池田市	33.5%	22
25	岬町	32.3%	21
26	大阪狭山市	32.1%	25
27	高石市	31.8%	18
28	泉南市	30.6%	29
29	貝塚市	28.3%	28
30	守口市	28.1%	30
31	羽曳野市	25.9%	31
32	東大阪市	24.4%	33
33	柏原市	24.1%	32
34	門真市	18.7%	34
35	豊中市	18.4%	38
36	忠岡町	17.7%	39
37	阪南市	16.6%	35
38	岸和田市	16.2%	40
39	八尾市	15.2%	37
40	藤井寺市	14.5%	36
41	松原市	5.5%	41

将来にわたる実質的な財政負担

順位	団体名	実質財政負担 ÷ 標準財政規模	30年度順位
1	泉佐野市	309.0%	1
2	高石市	246.6%	2
3	交野市	218.8%	3
4	箕面市	218.2%	4
5	門真市	216.9%	7
6	守口市	213.0%	5
7	忠岡町	200.2%	11
8	泉南市	196.8%	6
9	貝塚市	192.5%	17
10	松原市	181.1%	10
11	岬町	176.7%	15
12	八尾市	173.0%	9
13	東大阪市	169.6%	8
14	阪南市	165.1%	14
15	島本町	164.2%	28
16	能勢町	156.3%	27
17	藤井寺市	151.9%	19
18	枚方市	150.4%	16
19	泉大津市	149.8%	13
20	岸和田市	148.6%	12
21	羽曳野市	143.5%	18
22	大東市	138.6%	24
23	大阪狭山市	136.3%	22
24	池田市	136.2%	21
25	河南町	135.9%	20
26	富田林市	132.7%	23
27	柏原市	121.7%	29
28	千早赤阪村	118.5%	32
29	河内長野市	115.5%	25
30	寝屋川市	112.7%	30
31	和泉市	110.9%	26
32	豊能町	110.7%	34
33	豊中市	105.4%	31
34	四條畷市	98.2%	33
35	吹田市	75.5%	35
36	茨木市	67.0%	36
37	太子町	64.7%	38
38	摂津市	49.8%	37
39	熊取町	44.5%	39
40	高槻市	35.0%	40
41	田尻町	-182.6%	41

大阪府のHPに府内自治体のなんでもランキングが公開されています。その中の自治体の借金体質に関するランキングを左記に掲載します。

借金体質を端的に表す表が4つ目の将来にわたる実質的な財政負担の表です。この値は自治体の規模を補正するため、自治体の財政規模を表す標準財政規模の何倍にあたるかを表したものです。

財政が厳しいといわれている泉佐野市が最悪、続いて高石市が第2位、忠岡町7位、泉南市が8位と続き、泉州地区の自治体が財政負担の多い自治体を占めており、茨木市や摂津市、高槻市等北摂地域の自治体の財政負担は小さく明暗は極めてはっきりしています。その中で和泉市は31位と前期の26位から大きく改善していますが、新庁舎の建設など大型事業が続くことを考慮すると、予断を許しません。最も厳しいのがふるさと納税で一躍有名になった泉佐野市で、標準財政規模の3.1倍の財政負担を抱えています。

一方で財政負担が少ない自治体が田尻町で、将来にわたる財政負担が-183%と圧倒的です。

和泉市の過去11年間の実質的な財政負担は、改善傾向がありますが（下表参照）、市民税240億円の1.6倍の巨額です。今後とも財政規律の維持に努めなければなりません。

	地方債現在高	債務負担行為額	積立金現在高	実質的財政負担
H21	49,084	9,233	6,108	52,209
H22	49,777	11,640	5,798	55,619
H23	52,788	6,599	6,574	52,813
H24	52,774	7,228	7,306	52,696
H25	53,436	5,534	8,208	50,762
H26	53,701	7,011	6,989	53,723
H27	51,080	14,117	8,152	57,045
H28	49,747	13,398	10,006	53,139
H29	48,332	9,347	11,340	46,339
H30	46,982	7,247	11,490	42,739
R1	45,190	5,433	11,995	38,628



地方債とは地方公共団体が財政収入の不足を補うため、あるいは地方公営企業の建設、改良などの資金調達のために借入金を行う。

債務負担行為とは、予算は単年度で完結するのが原則ですが、1つの事業や事務が単年度で終了せず後の年度においても「負担=支出」をしなければならない場合には、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておきます。これを債務負担行為といいます。

基金(積立金)とは家庭でいう普通預金にあたり、単年度の収支をやりくりするのに使う。

将来にわたる財政負担とは、借金にあたる地方債と将来支出しなければならない債務負担行為の合計から貯金である基金を除いたものです。